

文学研究科・理工学研究科地理学専攻 博士前期課程

【解答（解答例）又は解答のポイント】

○印の科目の解答（解答例）又は解答のポイントを掲載しています。志願者がいなかった専攻については、掲載しておりません。

研究科	専攻	試験科目	入試方式	令和8年度	ページ
文学	哲学	専門	外国人留学生入試	実施なし	3
文学	史学	日本語※ 専門	外国人留学生入試	実施なし	4
文学	国文学	日本語※ 専門	外国人留学生入試	○	5-6
文学	中国学	日本語※ 専門	外国人留学生入試	○	7-11
文学	英文学	日本語※ 専門	外国人留学生入試	実施なし	12
文学	ドイツ文学	日本語※ 専門	外国人留学生入試	実施なし	13
文学	社会学（社会学コース）	専門	外国人留学生入試	○	14-18
文学	社会学（社会福祉学コース）	日本語※ 専門	外国人留学生入試	○	19-21
文学	教育学（教育学コース）	専門	外国人留学生入試	○	22-25
文学	教育学（体育学コース）	専門	外国人留学生入試	実施なし	26
文学	心理学（心理科学コース）	専門	外国人留学生入試	○	27-30
文学	心理学（臨床心理学コース）	専門	外国人留学生入試	○	31-33
理工学	地理学	専門	外国人留学生入試	実施なし	34

※日本語科目は共通問題です。1-2 ページに掲載しております。

国文学・中国学・社会学専攻社会福祉学コース（共通）

日 本 語

国文学・中国学・社会学専攻社会福祉学コース（共通）：日本語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以 上

哲学専攻

実施なし

専 門

史学専攻

実施なし

専 門

国文学専攻

専 門

国文学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

修士課程の入学試験に就いては，この課程での学修・研究に際して基盤となる学術語に就いて十分に把握しているかを確認するために，キーワードを示し，それに対して必要に応じて具体例を挙げて分かり易く説明することを求めている。

また，場合によっては，読解力を確認するために既存の作品等文章を示し，解読やその内容の解釈等を示すことを求めている。

いずれもこの課程の学修・研究で必要となる基礎知識を問う問題であるから，入学前段階の課程で獲得した学力を解答用紙に存分に発揮して欲しい。

以　　上

中国学専攻

専 門

中国学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

三. 次の語句の中から二つ選び、日本語で説明しなさい。

- ①傷痕文学：傷痕文学は、1970年代末から1980年代前半にかけて中国で巻き起こった、文化大革命（1966- 1976）による精神的・身体的トラウマや、社会の混沌を描き出した文学作品を指す。傷痕文学の名称は、盧新華による短編小説「傷痕」に由来し、ほかに劉心武「班主任」などが代表作として挙げられる。
- ②指代詞：人・物・事・場所・時間や状況などを指し示す代名詞。日本語では「こ・そ・あ」の3分類であるが、中国語は近称の「这」と遠称の「那」による2分類を基本構造とする。名詞を修飾するときは、基本的に数詞・量詞と結合する必要がある（这个人，那两张纸）。また「这」「那」は述語が「是」および形容詞のときのみ単独で主語になることができるが、その他の述語の主語や目的語にはなれない。
- ③趙元任：20世紀を代表する中国言語学者。英語ではYuen Ren Chaoと表記される。方言研究や中国音韻学、文法研究で広範な業績を残した。アメリカ言語学会会長も務める。代表作に『A Grammar of Spoken Chinese』や『語言問題』などがある。またベルンハルト・カールグレンの『Études sur la phonologie chinoise』を羅常培、李方桂とともに現代中国語に翻訳した。
- ④ボン教：仏教が伝来する以前からチベットで信仰されていたとされる土着宗教だが、仏教伝来以前のボン教と現在のそれは大きく異なる。仏教のチベット伝来後はその影響を受けながら変化し、チベット仏教に類似した形態をとりながら現在につながる形で再編された。現在でも僧院や信者が存在し、チベット文化の重要な宗教伝統の一つとされている。日本語ではしばしばボン教と表記されることもある。
- ⑤李香蘭：李香蘭は歌手、女優として活躍した山口淑子の芸名。旧「満洲国」で生まれ育ち、歌手としてラジオ番組に出演したのを機に「中国人」という触れ込みで日本の国策映画会社「満映」から映画デビューした。戦時中は国策宣伝的な内容をもつ『支那の夜』（伏水修 1940）などの映画に出演。戦後は日本のほかハリウッドや香港の映画にも出演、テレビ司会者、国会議員としても活躍した。
- ⑥費孝通：中国の社会学・人類学を代表する研究者。イギリスで博士号を取得し、

20 世紀前半の中国の社会学・人類学的研究の発展に貢献した。文革期には研究・教育活動の中止を余儀なくされたが、文革後に研究活動を再開、1988 年に発表した「中華民族多元一体格局」は、本来は民族の多様性と統合の歴史を説明するものであったが、後に中国の民族政策を支える重要な理念として位置づけられた。

四. 以下の設問の中から二つ選んでそれに日本語で答えなさい。（解答は次頁に記入すること）

①丁玲による小説作品を二つ以上挙げ、その女性像について論じなさい。

女性作家、丁玲による 1920 年代の代表作「莎菲女士的日記（ソフィ女史の日記）」は、闘病中の女性主人公が綴った日記の体裁を取る小説である。優しいが異性としての魅力に欠ける年下の男と、性的魅力にあふれつつもその人間性に不信感を抱かざるを得ない男とのあいだで葛藤し、やがて彼らとの関係を断ち切り、孤独のなかで生きることを決意するまでを描いた。一方、日中戦争期の「我在霞村的時候（霞村にいた時）」では、農村に派遣された「私」の眼を通し、日本兵の情婦となって秘密工作を請け負っていた娘が、のちに村へ戻った後も周囲から好奇と蔑みの対象となる様子を描いた。この二つの作品は、異なる時代、環境を背景にしながらも、ともにそれまで描かれることのなかった女性の「性」をめぐる心理や、それらが外部に表出した際に女性が経験することになる葛藤、苦悩をテーマとしている。

②第二次民族政策の近年の展開について、第一次民族政策との違いにも言及しつつ、詳細に説明しなさい。

「第二次民族政策」は、2011 年に胡鞍鋼などが提唱し、馬戎らも議論を展開したもので、中国の民族政策の大きな転換を、後付け的にはあるが、理論的に支えるものである。第一次民族政策は、建国時期にモデルとしていたソビエト民族理論の影響を強く受けたもので、民族識別によって個々の民族を発掘・認定し、民族区域自治や少数民族への優遇政策を通じて建前としてであれ各民族の独自性を認めるものであった。対して、第二次民族政策は、多元性尊重と本質主義批判の名目のもと民族間の「交融」を促進し、かつて認定した「民族」は実際には「中華民族」という単一民族のサブカテゴリーである「族群」に過ぎなかったとしてその独自性や民族意識を弱め、「中華民族」としてのアイデンティティを強化することを重視する。具体的には、民族を単位とする優遇措置や民族区域自治の見直し、各民族の混住・交流、共通の言語・文化を通じた国家統合などが論じられた。

- ③中国語の“处所词”，“处所短语”とは何か，どのような特徴があるのかについて，具体例を挙げながら説明しなさい。

“处所词”は「場所を表す語」のことを指し，場所を表わす名詞，指示詞，方位詞などが該当する。名詞には“学校，公司”，指示詞には“这里，那里”，方位詞には“上，下”などがある。

“处所短语”は，複数の語が組み合わさって，「場所」を表すフレーズのことを指す。多くの場合“在”と一緒に使われる。例えば“在北京”。“处所短语”の中には“在教室里”のように，“处所词＋方位词”からなるものもある。

“处所词”は単独で用いられ，文の中では主語・目的語などにもなる。例えば，“房间不大。那是我的房间”。

“处所短语”は“場所語＋方位詞”などの形で，文中においては，よく“状語”（連用修飾語）として動詞を修飾し，動作が行われる場所を表す。例えば，“他在北京工作。同学们在教室里学习。”

- ④中唐期の「新楽府運動」について，具体的な人物や作品に言及しながら，詳細に説明しなさい。

中唐期の「新楽府運動」は，安史の乱後の社会状況を背景に，古代楽府がもっていた社会・政治的機能を新たな形で復活させようとした詩歌上のムーブメントである。先駆者として杜甫や元結が挙げられ，杜甫の「三吏三別」や元結の「春陵行」は，戦争や徴税によって苦しむ民衆の姿を詠んだ。元和年間には李紳が「楽府新題」二十首を作り，これに刺激された元稹が「和李校書新題楽府」十二首を作った。白居易はこれをさらに発展させ，「新楽府」五十首を制作した。白居易は「文章合為时而著，歌詩合為事而作」と述べ，詩を現実の社会や政治に関わるものと位置づけた。「売炭翁」では貧しい老人からの収奪，「新豊折臂翁」では徴兵の悲惨さ，民衆の生活を通して社会の矛盾を諷諭した。なお，「新楽府運動」という呼称は後世の文学史的整理の側面があり，当時において「運動」という意識があったかという点については議論の余地がある。

- ⑤魯迅が譴責小説と呼んだ作品群について，その成立時期や特色について説明しなさい。

魯迅は『中国小説史略』のなかで，清朝末期において政治に対する人々の不満を背景とし，官僚や社会の害悪を暴いて描いた小説を「譴責小説」と呼んだ。李伯元は，『官場現形記』のなかで相互に関連性のない，無数の役人たちを登場させ，彼らの虚栄や欺瞞を表す様々な逸話をつなぎ合わせて清末社会を描いた。このほか，吳趸人『二十年目睹之怪現狀』，劉鶚『老殘遊記』，曾樸『孽海花』が挙げられている。譴責小説の作者たちは科挙世代でありながら，上海でジャーナリス

ムや新聞雑誌の編集，出版に関わるようになった人物であり，譴責小説をはじめとする多くの清末小説はこれら定期刊行物の連載小説として発表された。このような経緯が，短い話柄を繋ぎ合わせる章回小説という形式や，現実のモデルを彷彿とさせる人物，事件を扱うという内容面に影響を与えたと思われる。魯迅は譴責小説を，いたずらに悪弊をあげつらうだけで読者を感動させる力はなく，私怨を晴らすために人々を口汚く罵った誹謗の書として批判した。

以　　上

英文学専攻

実施なし

専 門

ドイツ文学専攻

実施なし

専 門

社会学専攻社会学コース

専 門

社会学専攻（社会学コース）：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

【問1】次に挙げる(1)から(10)の社会学の概念・用語の中から3つを選び、その内容を説明しなさい。なお、選択した番号を[]内に必ず記すこと。

- (1) 支配の三類型 (2) ランダムサンプリング (3) 中範囲の理論
(4) ハビトゥス (5) 構築主義 (6) 儀礼的無関心
(7) 隠れたカリキュラム (8) パノプティコン
(9) 方法論的集合主義 (10) I と Me

以下では、宮島喬編『岩波小辞典 社会学』岩波書店、濱嶋朗・竹内郁郎・石川晃弘編『社会学小辞典』有斐閣など、社会学に関する各種辞典や専門書を参考にしながら、社会学の概念・用語に関連した解答のポイント（関連する学者名・概念キーワードなど）を示す。

- [1] 「支配の三類型」とは、ドイツの社会学者 M. ウェーバー (Max Weber) が正当性信念を支配の根拠として分類し、提唱した概念である。ウェーバーは、「合法的支配」（制定された法律や規則の正当性、典型は官僚制）、「伝統的支配」（古くから存在する秩序と支配者の人格のもつ神聖性、典型は家父長制）、「カリスマ的支配」（支配者の人格とその人のもつ天与の資質、啓示や英雄性などに対する情緒的帰依、典型は軍事的英雄）の三つに類型化した。
- [2] 「ランダムサンプリング」とは、無作為抽出法、任意抽出法などと訳され、社会調査において、調査対象となる母集団の一つ一つの要素を標本（サンプル）として抽出するか否かを、一定の確率法則に従う手段で選ぶ抽出法のことである。この方法によって抽出された標本をランダム・サンプル（無作為標本）という。抽出法には、標本抽出法、単純無作為抽出法、確率標本抽出法などがある。
- [3] 「中範囲の理論」とは、アメリカの社会学者 R. K. マートン (Robert K. Merton) が『社会理論と社会構造』（1949）のなかで提唱した社会学の理論構築に関する考え方である。それは、具体的現実をふまえ、一般理論の知見も生かしつつ、社会現象について適度の一般化・概念化を行うものである。また、細かい社会調査のデータ収集と、一般化の度合いが高すぎる巨大理論

や抽象理論の両者をつなぎ、調査と理論研究の補完関係を築くことを目指した理論である。

- [4] 「ハビトゥス」とは、フランスの社会学者 P. ブルデュー (Pierre Bourdieu) が用いた概念で、社会化過程のなかで習得され、身に着いた一定のものの見方・感じ方・振舞い方などを持続的に生み出していく性向を指す。ブルデューは、学習行動、言語行動、芸術の享受、社会的交際など多くの行動において、この半ば無意識的な「ハビトゥス」が大きな役割を演じているとし、文化的再生産のメカニズムを説明する上でこれを重視した。
- [5] 「構築主義」とは、アメリカの社会学者 M. B. スペクター (Malcolm B. Spector) と J. I. キツセ (John Itsuro Kitsuse) が『社会問題の構築』(1977) のなかで提起した社会問題研究の方法である。この本質主義や実在主義を批判し、現実と言語によって構成されるという考えは、多くの事例研究に広がるようになり、言語論的転回の影響も受けて認識論的な問題へと発展した。そして、人類学や歴史学など広い分野での言説分析と結びついて、ジェンダー、セクシュアリティ、家族などに研究対象が拡大した。
- [6] 「儀礼的無関心」とは、アメリカの社会学者 E. ゴッフマン (Erving Goffman) が提唱した概念で、公共の場で他人の存在を認識しながらも、相手を過度に注視したり干渉したりせず、互いのプライバシーや適度な距離を尊重する行動様式である。ゴッフマンは、『集まりの構造』(1963) のなかで、このような行動が、見知らぬ人々の間における日常的な社会秩序を維持する役割を果たすと考えた。
- [7] 「隠れたカリキュラム」とは、学校教育において、学習指導要領や教科書などに明示的な教育目標として示されていないものの、学校生活や人間関係、制度、規則などを通じて、子どもたちが身につける価値観や規範、行動様式などを指す。ジェンダーの観点に立つ教育運動や研究では、そのなかに性差別的な価値観や性別特性観が存在することが指摘されている (例：男女混合出席簿など)。
- [8] 「パノプティコン」とは、一望監視施設と訳され、イギリスの哲学者・法学者 J. ベンサム (Jeremy Bentham) が考案した収容施設で、中心に監視塔を置き、放射状に収容者の部屋を配置したものである。また、フランスの哲学 M. フーコー (Michel Foucault) は、『監獄の誕生』(1975) のなかで、パノプティコンを単なる監獄の設計ではなく、近代社会の管理・統制のあり方として論じている。

[9] 「方法論的集合主義」とは、社会現象を説明する際に、個人ではなく、社会全体や集団、社会制度、社会構造などを分析の基本単位として重視する立場のことである。また、方法論的個人主義と対比され、個人と社会構造の関係を説明する上での重要な概念である。フランスの社会学者 E. デュルケーム (Émile Durkheim) は、社会的事実を個人の心理状態に還元せず、他の社会的事実との関係から説明することを重視した (『社会学的方法の規準』1895年)。

[10] 「I と Me」とは、アメリカの社会学者 G. H. ミード (George Herbert Mead) が『精神・自我・社会』(1934) で提唱した自我 (self) の基本概念である。「Me (ミー)」とは、役割取得の過程を通じて内面化された態度や期待、自己像であり、「I (アイ)」とは、この態度や期待を不断に対象化し内省する創発的な力動を指す。自我は、この2つの側面が相互に関わる社会的な過程として形成される。

【問2】現代社会の問題をひとつ挙げ、1) その問題が生じる背景について社会学の観点から考察しなさい。2) その上で、その問題の解決方法について述べなさい。

この問題は、「現代社会の問題」について単に知識を述べるのではなく、その問題が生じる背景を社会的に捉え、そのうえで解決方法を論じることがポイントとなる。以下、解答の流れの例を示す。

① 現代社会の問題をひとつ設定する

少子化、格差問題、若者の生きづらさ、逸脱行動、ジェンダーをめぐる諸問題など、何を問題として論じるのかを明確にする。ここでは、現代社会についての幅広い知識が求められる。

② その問題が生じる背景を社会的に考察する

社会学では、どのような問題も、個人の資質や努力不足などの「個人」の問題だけから捉えるのではなく、家族、地域、経済、社会制度、文化など、さまざまな社会的背景との関係から捉えていく。

そこで、その問題が現代社会で生じている背景を説明する際、社会学の理論や学説に依拠し、社会的な視点から説明することが重要である。ここでは、社会学に関する幅広く、かつ正確な知識が求められる。

③ ②で考察した背景・要因を踏まえて，解決策を考える

②で考察した社会問題の背景を踏まえ，どのような解決方法が考えられるのかを論じる。その際，個人ができることだけではなく，制度や政策，学校，職場，地域などにおける社会的な取り組みについて述べる必要がある。この時，解決策が②で示した社会学的な問題の捉え方と矛盾しないようにすることも重要である。

その他，日本語の文章力・表現力，文章構成力（序論・本論・結論），論理的思考力なども評価の対象となる。

以　上

社会学専攻社会福祉学コース

専 門

社会学専攻（社会福祉学コース）：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問1 次の社会福祉に関連する用語の中から4つを選び、選択した用語の番号を記載した上でその内容を説明してください。

⑤ 生活場面面接

相談室であらかじめ時間を設定して行う面接ではなく、利用者が生活している場で、日常的な活動や会話等を通して行う面接である。面接の目的を意識し、食事、入浴、移動、余暇活動などの場面で、利用者の気持ちや困りごとなどを聴くことを通して、利用者の潜在的なニーズや課題を把握する。

⑥ セツルメント運動

大学教員や学生、宣教師たちが、スラム街に入り、社会的に弱い立場にある人や、生活に苦しんでいる人やその家族と一緒に生活し、生活の改善や社会改良に取り組む活動である。

⑦ スーパービジョン

ソーシャルワーカーなどの援助者が、スーパーバイザーとの対話を通して、自らの実践を振り返り、専門性を高め、より良い支援を目指して、成長していくことを目的として行われる。

また、援助者の自己覚知や自己省察を促し、孤立や燃え尽きを予防する役割を担っている。

⑧ 母子・父子自立支援員

「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、ひとり親家庭や寡婦家庭に対して、子育てや仕事などの生活上の相談に応じ、一人ひとりにあった制度や社会資源を紹介するなどの支援を行う相談員である。

問題3 総合的かつ包括的な支援について説明し、その支援におけるアウトリーチの意義と課題について論じてください。

*2026年度、他の区分の入試問題と一部重なることや、多くの出題に影響するので開示できません。

【解答のポイントと留意点】

- ・ 出題内容について，その専攻分野における専門知識について大学卒業レベルの基礎的理解について評価します。
- ・ 出題内容について，専門知識の理解度をみるとともに，論理的に説明できているかの学術的な記述力・論述力を評価します。
- ・ 論述を通して，社会福祉学の学問の固有性，専門性，倫理性を踏まえた大学院レベルの研究力の基盤があるかを評価します。

以 上

教育学専攻教育学コース

専 門

教育学専攻（教育学コース）：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問1 以下は、オルタナティブな学び場について述べられた文章の一部です。
この文章を読んで、設問(1) (2)に答えてください。

設問(1) 下線(a)の「試案」とは、2016年に成立し公布されたある法律の座長試案のことを指しています。この法律の名称を答えてください（略称でも可）。

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（教育機会確保法）

設問(2) 下線(b)の「別様性の容認」とはどのようなことを指していると考えられるでしょうか。直前に述べられている「多様性の包摂」と比較しながら述べてください。また、その上で、公教育における「別様性の容認」について、あなたの考えを論じてください。

「解答のポイント」

- ・この問題に解答する上で最も重要となるポイントは、問題文の筆者の主張と、解答者自身の考えを切り分けて論じることです。
- ・まず、前半の「別様性の容認」については、問題文から読み取れる範囲で筆者の主張をまとめることが必要です。問題文の前半に「メインストリームとは別の生き方を求める人たちが、別様の仕方で生きることのできる余地」についての記述があるので、この部分がヒントになります。また、この語と対照的に書かれている「多様性の包摂」では、直前にある、「個別学習指導計画の教育委員会承認」の話題が示すように、多様なあり方を社会に「包摂」することの方に力点が置かれています。このため、そうした包摂のために設けられる規制が（最低限のものであっても）当事者から問題視されていることを示した上で、その点と比較しながら「別様性の容認」を説明する必要があります。
- ・後半は「あなたの考え」を論じる部分なので、ここで述べられた「別様性の容認」について、解答者自身の考えを論理的に記述することが求められます。

問 2 以下に示す人名・事項から五つを選択し、それぞれについて教育学的な観点から、200 字程度で説明してください。

1. Johann Friedrich Herbart 2. Carlton Wolsey Washburne 3. 安部能成
4. 倉橋惣三 5. 地域学校協働本部 6. 共同学校事務室 7. フィルターバブル
8. Socially Shared Regulation of Learning (SSRL) 9. Triangulation
10. Socioeconomic Status (SES) 11. Round-Robin (学習法)
12. Structural Adjustment Programs (SAPs)

「解答のポイント」

12 のキーワードのうち、各キーワードに関して、以下の用語、説明等を含めながら論理的に記述することができている。

Johann Friedrich Herbart :

ペスタロッチとのつながり、倫理学、心理学（表象力学）、管理・教授・訓練、道徳的品性の陶冶、4 段階教授法（明瞭・連合・系統・方法）等

Carlton Wolsey Washburne :

ウィネトカ・プラン（Winnetka Plan）、イリノイ州ウィネトカ、シカゴ大学実験学校、ジョン・デューイ、一般共通科目（common essentials）、創造的集団活動（creative group activities）、カリキュラム、新教育 等
安部能成 :

法政大学、京城帝国大学、第一高等学校、幣原改造内閣、文部大臣、第一次アメリカ教育使節団、帝室博物館、国立博物館、教育刷新委員会委員長、学制改革、教育基本法、国語審議会、『西洋近世哲学史』岩波書店

(1917),

『西洋道徳思想史』角川書店（1948）、『文化・思想・哲学』勁草書房（1949） 等

倉橋惣三 :

東京女子高等師範学校附属幼稚園、人道的篤志、『婦人と子ども』フレーベル會（1912-）、「フレーベル主義」、生活、遊び、誘導保育、教育刷新委員会、日本保育学会、『幼稚園保育法真諦』東洋図書（1934）、幼稚園教育要領、保育所保育指針 等

地域学校協働本部 :

地域学校協働活動、社会教育法、ネットワーク、地域学校協働活動推進員、コーディネーター、学校運営協議会、「学校を核とした地域づくり」、多様な活動、継続的な活動 等

共同学校事務室：

学校事務，共同実施，地方教育行政法第 47 条の 4，事務職員，効率化，標準化，マネジメント機能，校務運営，OJT 等

フィルターバブル：

インターネット，「自らの見たいもの，信じたいものを信じる」，確証バイアス（Confirmation bias），心理学，分析（プロファイリング），アルゴリズム機能，排除（フィルタリング），SNS，エコーチェンバー，情報教育，ICT 等

Socially Shared Regulation of Learning (SSRL)：

自己調整学習理論，他者，関わり，「社会的に共有された調整（Socially Shared Regulation of Learning）」，学習者，学習方略，動機づけ，集団，自己調整 等

Triangulation：

心理学，学習，複数，視点，データ，調査（者），方法，理論，評価，信頼性 等

Socioeconomic Status (SES)：

社会経済的背景，家庭的背景，学歴，所得，職業，社会的資本，文化的資本，学力，金融教育，格差，不平等 等

Round-Robin（学習法）：

グループ学習，話し合い，課題明示，個人思考，集団思考，総合的な学習の時間／総合的な探究の時間，アクティブラーニング，主体的・対話的で深い学び 等

Structural Adjustment Programs (SAPs)：

構造調整プログラム，国際通貨基金（IMF），世界銀行，財政支出削減（緊縮財政），経済改革，教育改革，投資，開発政策 等

以 上

教育学専攻体育学コース

実施なし

専 門

心理学専攻心理科学コース

専 門

心理学専攻（心理科学コース）：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問題 1. 以下の英文を読み，小問(1)から(6)に日本語で解答せよ。なお，辞書の使用は認めない。

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

問題 2.

(1)精緻化見込みモデル(elaboration likelihood model)について説明せよ。

(解答例) Richard E. Petty と John T. Cacioppo が 1980 年代に提唱した，説得的メッセージによる態度や行動の変容を説明する二重プロセス・モデル。メッセージについて，受け手が精緻化するかどうかによって，説得の中心ルートと周辺ルートに分かれるとする。精緻化の見込みは，受け手の動機づけや能力の影響を受け，動機づけが高く能力があるときには，中心ルートを通り，メッセージの内容が批判的に検討され，メッセージへの反論可能性が低いときには，メッセージの唱道方向への強固で持続的な態度変化が生じる。一方，動機づけが低かったり，能力がなかったりするときには，周辺ルートを通り，説得的メッセージの内容ではなく，たとえば送り手の特徴やメッセージの量などの周皮的な手掛かりに基づいて一時的で変化しやすい態度変化が生じる。

(2)多元的無知(pluralistic ignorance)について説明し，それがもたらす社会現象の具体例をあげよ。

(解答例) Floyd H. Allport が 1920 年代に提唱した概念。集団の成員の多くが内心では特定の意見や行動に否定的であるにもかかわらず，自分以外はその意見や行動に肯定的であると誤解し，結果として，その集団のなかでその意見や行動が支配的になる現象をさす。たとえば，集団思考(集団浅慮 groupthink)。リーダーの提案に誰も異論を唱えないために，全員が内心ではその提案に疑問を感じていながらも，自分以外の全員がリーダーの提案を支持していると思い込み，その提案に従ってしまう。Irving Janis は，集団思考の例として，ビッグス湾侵攻，ウォーターゲット隠蔽などをあげており，E. Aronson は，チャレンジャー号爆発事故をあげている。(たとえば，緊急事態における傍観者効果。街中で倒れている人がい

ても周囲が平然と通り過ぎているため、その人は誰からも援助を受けられない。傍観者効果の例として、Kitty Genovese 事件がしばしば引用される。)(たとえば、沈黙の螺旋。自分の意見を少数派と誤解し、社会的な孤立を恐れて発言を控えることで、結果として、多数派の意見が優勢になっていく。現代的には、エコーチェンバー現象やサイレントマジョリティ現象にも繋がる。)

問題 3.

(1) デイセプションとは何か、説明せよ。

社会心理学実験におけるデイセプションは、実験の真の目的や条件を研究参加者に対して偽ったり、一部の情報を意図的に隠蔽したりする研究手法である。例えば、実験の真の狙いが「同調行動の測定」であるにもかかわらず「知覚判断のタスク」だと説明するケースや、サクラ（偽の研究参加者）を用いて特定の社会的状況を人工的に作出する手続きなどが該当する。

(2) デイセプションを用いる理由について説明せよ。

デイセプションを用いる最大の理由は、要求特性や評価懸念による測定結果の歪みを回避し、研究の内部妥当性を確保するためである。研究参加者が実験の真の目的（仮説）を推知すると、無意識に実験者の期待に沿うような行動をとったり（実験者効果）、逆に反発した行動をとったりすることがある。また、「良い参加者でありたい」「社会的に望ましい行動をとろう」とする心理が働き、本来の自然な態度や行動が抑制されることもありえる。参加者に意図を隠すことで初めて、制御された実験環境下で生々しい人間行動や心的プロセスを客観的に観察・測定することが可能となる。

(3) デイセプションを用いる際に注意すべき点は何か、説明せよ。

デイセプションを用いる際に注意すべき点として以下の 3 つが挙げられる。

- ① インフォームド・コンセント（説明同意）の実施とデブリーフィング（事後説明）の徹底：事前同意が制限される以上、実験終了直後に必ず真の目的、デイセプションを用いた理由、偽情報の具体的な内容を誠実に明かす必要がある。
- ② 参加者の心理的負担の解消：欺かれたことによる不快感や自尊心の低下、不信感を払拭し、実験参加前の精神状態へと戻すケア（カウンセリング的アプローチを含む）が不可欠である。また、事後説明を受けた研究参加者が希望した場合には、自らのデータ使用を拒否・撤回できる機会を保障する必要がある。

- ③ 代替手法の検討と倫理審査委員会による審査：ディセプションは、他の方法では目的が達成できない不可避な場合にのみ最終手段として許容される。研究者は、利益（得られる知見の価値）が不利益（参加者のリスク）を確実に上回ることを客観的に立証する必要がある。

問題 4．知覚の恒常性について説明せよ。

知覚の恒常性とは、観察条件の変化によって網膜像などへの感覚入力（近刺激）が変化しても、対象そのもの（遠刺激）の性質を比較的一定に知覚する傾向をいう。代表的なものとして、距離によって網膜像の大きさが変わっても対象の大きさを一定に知覚する「大きさの恒常性」、傾けて見ても形を一定に知覚する「形の恒常性」、照明の強さが変わっても白い紙を白と知覚する「明るさの恒常性」、照明光の色が変わっても物体色を一定に知覚する「色の恒常性」がある。知覚の恒常性は、距離手がかりや周囲との輝度比といった文脈情報を用いて感覚入力を補正することによって生じると考えられ、安定した外界認識を可能にしている。ただし、エイムズの部屋のように手がかりが誤った情報を与える状況では恒常性が崩れて錯視が生じる。

以　　上

心理学専攻臨床心理学コース

専 門

心理学専攻（臨床心理学コース）：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問題 1. 以下の英文を全訳せよ。

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

問題 2. 限局性学習症について説明せよ。

限局性学習症（SLD: Specific Learning Disorder）とは、全般的な知能の発達に顕著な遅れはないものの、「読む」「書く」「計算・推論する」といった特定の学習能力の獲得と使用に著しい困難が生じる発達障害の一種である。従来は「学習障害（LD）」という名称であったが、診断基準 DSM-5 において「限局性学習症」の名称が用いられている。

主な原因は、完全に特定されていないが、視覚・聴覚情報の処理や認知機能に関わる脳の機能的な障害と考えられており、本人の努力不足や家庭環境・教育の不備によるものではない。

困難が生じる具体的な領域によって、以下の 3 つのタイプに分類される。

1 つ目のタイプは、文字をスムーズに読むことや、読み上げた内容を理解することが困難な状態となる読字不全（ディスレクシア）である。文字と音の変換が苦手で、音読が遅かったり、文字を飛ばして読んだりする。2 つ目のタイプは、文字を書くことや、文章を構成することが困難な状態となる書字表出不全（ディスグラフィア）である。マス目からはみ出したり、形が崩れたりするほか、鏡文字を書く、文法的に正しい文章が書けないといったことが生じる。3 つ目のタイプは、数概念の理解や計算、図形・推論の処理が困難な状態となる算数不全（ディスカリキュリア）である。数の大小比較や繰り上がり・繰り下りの計算が苦手である。

限局性学習症の支援においては、本人の困難を「怠け」と捉えず、本人の困難に応じた適切な支援や環境調整を行うことが必要である。たとえば、教科書の音読を補助する読み上げアプリの活用、テスト時間の延長、手書きの代わりに ICT 端末を使用するなどの環境調整が挙

げられる。一方で、本人の興味関心や得意なことを活かした学習内容や方法を取り入れ、成功体験を積んでもらうことで、自己肯定感の低下を防ぐことも重要である。

問題 3. 操作診断基準における「うつ病」と、内因性「うつ病」の概念の違いについて論ぜよ。

<解答のポイント>

1. そもそも「操作診断基準」とは何かを知っている。
2. 操作診断基準として世界的に使われているものは、DSM と ICD である。
3. DSM と ICD には共通する点もあるが、相違点もある。
4. 「内因性」とは何かを知っている。
5. 「うつ病」(Depression) にはたくさんの意味や概念がある。

問題 4. 「神経症」概念の歴史的変遷について論ぜよ。

<解答のポイント>

1. 「神経症」(neurosis) 概念を知っている。
2. 上記に関係した概念としての「精神病」も知っている。
3. 現在、操作診断基準で「神経症」が使われなくなっているという現状がある。
4. 「神経症」概念から枝分かれした代表的な disorder を知っている。
5. 病態水準に関して最低限の理解をもっている。

以 上

地理学専攻

実施なし

専 門